



# 埋文だより

第13号

平成9年2月28日発行

## 被葬者達は一体誰？！



### 中尾遺跡

《所在地：肝属郡吾平町中尾》

中尾遺跡は肝属郡吾平町にあり、古墳時代の  
大規模な集落跡と推定される遺跡です。県道改  
良工事に伴い、平成3年より継続して発掘調査  
を実施し、本年度は8月19日から10月18日ま  
でと11月25日から29日までの2回行いま  
した。

前半の調査では、古墳時代の多量の土器片と  
ともに5基の竪穴住居、土器を破棄した土坑等  
が発見されました。さらに、下層からは縄文時  
代早期の土器片と石斧が集石遺構とともに発見  
されました。後半の調査は、新たに発見した6  
基の「地下式横穴墓」のうちの4基を調査しま  
した。1号墓からは成人男性と10歳程の男の子、  
5号墓からは20歳未満の女性、6号墓からは、  
20歳・30歳・40～50歳程の3人の男性人骨が出  
土し、5号墓を除いた他の墓からは鉄製の直刀  
や刀子、鉄製の矢じりや馬につける鈴などの副  
葬品が出土しました。

※1・2号墓 県立埋蔵文化財センター調査

※3～6号墓 吾平町教育委員会調査

### 人骨の出土状況

地下式横穴墓群の6号墓

(写真提供：吾平町教育委員会)

### 目次

	頁
・中尾遺跡 .....	1
・発掘調査紹介(12) .....	2～3
・敷領遺跡	
・宮田ヶ岡瓦窯跡	
・上野原遺跡	
・三角山I遺跡	
・県民セミナー .....	4
『鹿児島考古巡回展』を継いで	
・平成8年入館者一覧 .....	4
・埋文友の会のお知らせ .....	5
・第5期長期研修を終えて .....	5
・平成8年度におこなった .....	6
主な発掘調査	

鹿児島県立埋蔵文化財センターの見学は、

日曜日・祝日・年末年始を除き、毎日午前9時～午後5時まで、

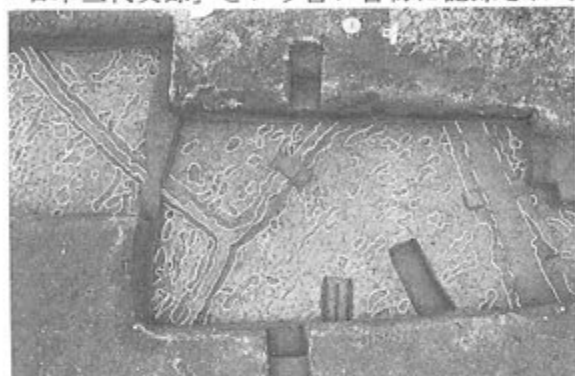
入館料は無料です。お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。

発掘調査紹介(12)

## 火山灰の下から平安時代の田んぼが見つかる

敷領遺跡 《所在地：指宿市十二町》

「さつま富士」ともよばれる開闢岳は、古代には桜島のように噴火を繰り返していました。中でも平安時代の貞観16年（西暦874年3月25日）におきた大噴火は、指宿地方を厚い火山灰の下に閉じ込めてしまいました。この大噴火は「日本三代実録」という古い書物に記録されて



畑の畝と田んぼの畦跡

いたのです。

指宿市の市街地にある敷領遺跡からは、その時の噴火でうまってしまった田んぼや畑の跡が発見されました。約50cmほど地面を掘り下げると長い年月の間にとっても硬くなった火山灰が30cmくらい積もっていました。そしてその火山灰をとり除くと下には、畑の畝や田んぼの畦の跡がはっきりと残っていたのです。畑の中には土の様子からもともと田んぼだったところを畑に作り替えていたものもわかりました。

この頃の人々は、田んぼや畑でお米を作り、それを役所に税として納めていましたが、この噴火で火山灰が厚く積もったところには、人が住めなくなってしまいました。

(指宿市教育委員会 渡部徹也)

## 奈良時代の仏教文化の贈り物

宮田ヶ岡瓦窯跡 《所在地：始良郡始良町船津》

宮田ヶ岡瓦窯跡は、九州縦貫自動車道建設に伴う分布調査によって、昭和44年に発見されました。遺跡は町役場から北西へ約1.5kmの位置にあり、付近には大量の布目瓦が見られるため、古代の国分寺瓦を焼いた窯跡ではないかと推測されてきました。



左より1号窯・2号窯

そこで始良町教育委員会ではこの窯跡を確認し、保存・活用する目的で、昨年11月から12月まで発掘調査を行いました。調査の結果、3基の窯跡が南北へ細長く伸びる宮田ヶ岡の西側斜面に確認されました。いずれの窯跡も岩をくりぬいて造られ、中には当時の瓦がそのまま並べられた状態も見つかりました。

また、遺物では唐草文様のある軒平瓦も3点採集され、国分市内から出土した大隅国分寺の瓦と同じ文様であることが確かめられました。

始良町教育委員会では、鹿児島県の古代史解明に向けて、引き続き来年度も発掘調査を予定しています。

(始良町教育委員会 下鶴 弘)

## 約1万年前の集落か!?

上野原遺跡は、国分上野原テクノパーク造成に伴い、平成4年度から発掘調査が続いています。

本年度の調査では、弥生時代から縄文時代早期までの遺構や遺物が数多く発見されました。

弥生時代では、中期から後期にかけての竪穴住居跡が6基と杭列跡が見つかりました。杭列跡に囲まれた場所の土を科学分析したところ、稲の痕跡が確認され、稲を栽培した可能性もあります。このことから、生産地域と居住地の区別があったことがわかり、当時の生活の様子をうかがうことができます。

また、縄文時代晩期で注目されるのは、炭になったドングリが詰まった土坑（竪穴）です。黒川式土器や石皿等も発見されていることから当時の食生活を知るうえで貴重な資料といえま

### 上野原遺跡 《所在地：国分市川内》

す。

さらに縄文時代早期では、前平式土器が使用された時期の50基を越える竪穴状遺構が見つかりました。約9千5百年前に降った桜島の火山灰から遺構の時期が判断できるため、縄文時代早期前葉という古い時期の、南九州の人々の生活を知るうえで貴重な発見となりました。



上空から見た上野原遺跡

## 1万年の時を越えて

### 三角山Ⅰ遺跡 《所在地：熊毛郡中種子町砂中》

「わあ、きれいな土器!」「貝殻の模様だ!」

掘り出されたばかりの土器を囲んで、発掘作業員さんたちが口々に驚きの声を上げました。土器には4列に並んで、貝殻を押しつけたあとがはっきりと残されています。これは1万年の時を越えて掘り出された、縄文時代草創期の『隆帯文土器』とよばれる土器なのです。

ここ中種子町の三角山Ⅰ遺跡では、約1万2千年前とされる縄文時代草創期の土器や石器が多量に出土しています。草創期の土器である『隆帯文土器』は、土器の表面に粘土のひも（帯）を貼り付け、その上を指やヘラなどで押し付けて刻み目をつけるものです。三角山Ⅰ遺跡や西之表市の奥ノ仁田遺跡などでは、写真の土器のように貝殻を押し付けて刻みをつけた土器も多く出土しており、種子島の特徴と考えられます。

縄文時代草創期は、人々が土器を作り始めた時代です。単なる煮炊きの道具として作るだけでなく、そのころ既に美しさを意識して、ひとつひとついねいに貝殻を押し付けていった縄文人の姿がしのばれます。

なお三角山Ⅰ遺跡は、新種子島空港建設に伴い、平成8年5月から全面調査を行っています。本年度の調査は、3月まで行う予定です。



『隆帯文土器』

## ～県民セミナー『鹿児島考古巡回展』を終えて～

鹿児島考古巡回展は、第1回<sup>にしのおもて</sup>の西之表会場を皮切りに、高山<sup>こうやま</sup>会場、出水<sup>いずみ</sup>会場、知覧<sup>ちらん</sup>会場の4会場で開催しました。各会場とも盛会<sup>せいかい</sup>のうちに終了しました。

第3回は、8月31日から9月25日まで出水市歴史民俗資料館で開催しました。出水市は鹿児島県で初めて旧石器時代の遺跡が発見・調査されたところです。そのためか、地元展示コーナー<sup>うわば</sup>での上場遺跡（旧石器時代）の出土品は特に注目されました。

講演会は、上場遺跡にちなんで「最古<sup>かひやうど</sup>の狩人<sup>しゆりやう</sup>たち」という題で、旧石器時代の人々が、狩猟のための道具（石器）を発明したり、マンモス等と勇敢に戦ったことなど発掘調査でわかった具体例をあげて説明がありました。

第4回は11月7日から12月8日まで知覧町ミュージアム知覧で開催しました。ミュージアム

知覧では、ホールを展示会場にして開放的な展示を試みた結果、土器などを間近に見ることができ、好評でした。

知覧町では、国指定史跡になっている知覧城<sup>やまじろ</sup>（山城）の整備が進められ、近世の武家屋敷もよく保存されています。また、最近では江戸時代<sup>せいいてつあと</sup>の製鉄跡も調査され、中近世の文化を語るにふさわしい土地柄です。そこで講演会も「中近世の社会と文化」と題し行なわれました。県内の山城や館跡等の特徴を発掘調査の事例やスライドで紹介しました。

この「鹿児島考古巡回展」全体を通じて6千人をこえる、子供から大人までのたくさんの方が展示会・講演会に参加していただきました。来年度は装いを新たにして県内3ヶ所で開催する予定です。



知覧会場の展示風景

(単位：人)

開催地	会場	入館者数		計	講演
		大人	種別		
西之表市	種子島総合開発センター	1,177	629	1,806	85
高山町	高山町歴史民俗資料館	697	255	952	82
出水市	出水市歴史民俗資料館	641	923	1564	72
知覧町	ミュージアム知覧	1,490	504	1,994	104

平成8年度は、1月までに7千人近い方々が、当センターに来館して下さいました。当センターでは、速報展の展示替えや県内の主な遺跡を紹介する多画面モニターを導入し、楽しく学習できるようになりました。

県民のみなさまの来館をお待ちしています。

### 入館者の状況 (平成8年度) 1月末現在

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
区分											
団体	641	508	413	436	738	224	233	138	154	65	3,550
個人	268	327	521	288	410	292	208	196	235	77	2,822
その他	77	0	317	15	81	0	0	108	0	0	598
合計	986	835	1,251	739	1,229	516	441	442	389	142	6,970
									平成7年度		6,282
									増減		+688

## 埋文友の会のお知らせ

平成7年4月に発足した「埋文友の会」は、本年度も2月22日開催の2講座を含め11の講座が開催されました。来年度も通常の講座に加え、発掘体験・遺跡めぐり・実験考古学などの企画が予定されています。

### <平成8年度講座一覧>

第10回 4月27日(土)

講座17「ミクロの考古学」… 大久保浩二  
講座18「神戸は今」…………… 立神次郎

第11回 6月22日(土)

講座19 史跡巡見「指宿・知覧の旅」

第12回 8月24日(土)

講座20「2万年前の鹿児島」… 長野真一  
講座21「磯庭園反射炉跡の発掘  
調査成果について」… 松尾千歳

第13回 10月26日(土)

講座22「考古学とマス・コミュニケーション」… 堂込秀人  
講座23「定住生活の始まり」…………… 雨宮瑞生

第14回 12月7日(土)

講座24「縄文のジャンクション」…………… 前迫亮一  
講座25「邪馬台国時代の鹿児島」… 本田道輝

第15回 2月22日(土)

講座26「器に残された文字世界」… 中村和美  
講座27「阿多忠景の時代—中世前期の  
東アジアと薩摩諸島」…………… 栗林文夫

## ～第5期長期研修を終えて～

県内の埋蔵文化財保護行政を円滑に進めるため、当センターでは平成4年4月の開所以来、「長期研修講座」を実施し、昨年度までに26名の修了生を送り出してきました。現在修了生は、それぞれの市町村で発掘調査や文化財の保護担当者として活躍しています。

今年度も、受講生9名を迎えて始まった第5

期研修講座は、6ヶ月間(5月7日～11月7日)の研修を、全員無事終了することができました。

今後、修了生はセンターと連携をとりながら、各々の市町村での発掘調査や文化財保護の業務を担当します。地元の方々の修了生への暖かいご支援をよろしくお願いします。

### 長期研修講座を受講して

6か月という研修期間を聞いたとき果たして続けられるだろうかということがまず頭に浮かびました。しかし、埋蔵文化財については見るもの聞くものほとんどが初めてのことばかりでいざ終わってみると「えっ、もう終わり？」というような気がしています。

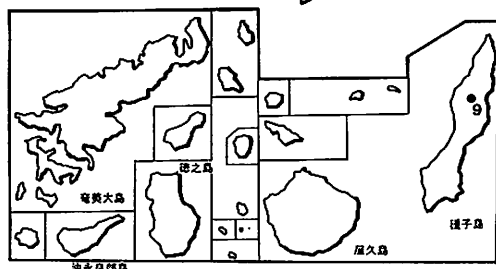
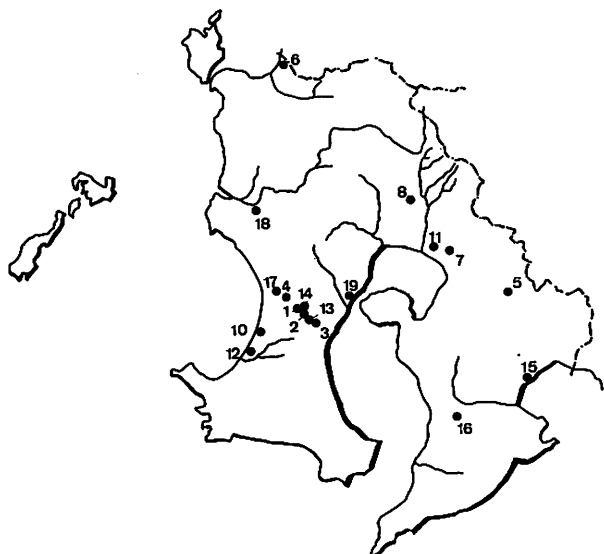
さて研修を振り返って見ますと、現場研修では埋文センターの職員の方々から発掘調査で多忙にもかかわらず、機械器具類等の扱い方や調査方法の段取りなど親切に教えていただきました。

また、講義では普通なら顔すら拝見できな

みぞべちよう  
溝辺町教育委員会 三好健一  
ような著名な先生方の講義を受けることができ大変有り難く思っています。

この研修を終えて、考古学は古代の人々の生活様式に直接触れられるとても夢のある素晴らしい学問だと感じています。これらのことを基礎として埋蔵文化財保護行政の担当者として、やっと、スタートラインに立てたような心境です。これから先、充分やっつけていけるかどうか不安でいっぱいですが、埋蔵文化財センターの職員の方々にこれからもご指導いただき、頑張っていきたいと思えます。6か月間本当に有り難うございました。

# 平成8年度におこなった主な発掘調査



詳しい遺跡情報については、センターが行って調査は当センターへ、センターが支援した調査は当該市町村へお問い合わせください。

## 埋文センターが支援する市町村関係発掘調査

遺跡名	所在地	調査期間	調査の種類
田志樹名	和泊町	4月終了	確認調査
一湊松山	上屋久町	5月終了	確認調査
前之迫	長島町	5月終了	全面調査
大蔵庵	阿久根市	5月終了	確認調査
北山	阿久根市	5月終了	確認調査
下原	天城町	6月終了	確認調査
向得原	吉田町	6月終了	確認調査
軍原	高山町	6月終了	確認調査
曲之迫	東串良町	6月終了	確認調査
兼久塔原	天城町	7月終了	確認調査
出水貝塚	出水市	7月終了	確認調査
ウシロマタ	伊仙町	7月終了	確認調査
持躰松	金峰町	11月終了	確認調査
志良辺堂外	知名町	7月終了	確認調査
前兼久B	知名町	7月終了	確認調査
倉木崎	宇検村	8月終了	確認調査
北野天神	南種子町	8月終了	確認調査
錆河	牧園町	8月終了	全面調査
カムイヤキ	伊仙町	1月終了	確認・分布
中津川	薩摩町	9月終了	全面調査
横峯	南種子町	10月終了	確認調査
横高尾	大根占町	10月終了	確認調査
志戸子	上屋久町	9月終了	確認調査
栃木	内之浦町	10月終了	確認調査
金吹ヶ段	串木野市	10月終了	確認調査
京塚	中種子町	11月終了	全面調査
日守	西之表町	11月終了	全面調査
崩尻	垂水市	11月終了	確認調査
小市原	樋脇町	11月終了	確認調査
南十三塚	溝辺町	11月終了	確認調査
楠原	有明町	12月終了	全面調査
南十三塚	溝辺町	2月終了	全面調査
向得原	吉田町	3月予定	全面調査

## 埋文センターがおこなっている発掘調査

	遺跡名	所在地	調査期間	調査の種類
1	前原	松元町	10月終了	全面調査
2	前山	松元町	9月終了	全面調査
3	宮尾	松元町	9月終了	全面調査
4	永迫平跡	伊集院町	10/1～3/31	確認・全面
5	桐木跡	末吉町跡	4/22～3/31	確認・全面
6	鳥越平跡	出水市	8月終了	試掘
7	上野原	国分市	4/22～3/31	確認・全面
8	東免跡	隼人町 溝辺町	4/22～3/31	確認・全面
9	三角山跡	中種子町	5/7～3/31	確認・全面
10	市堀跡	金峰町 吹上町	10/21～3/31	確認調査
11	本御内	国分市	6月終了	全面調査
12	白糸原	金峰町	10月終了	全面調査
13	仁田尾	松元町	4/22～3/31	全面調査
14	栢堀	松元町	10/7～3/31	全面調査
15	後迫	大崎町	7月終了	確認・全面
16	中尾	吾平町	11月終了	全面調査
17	市ノ原跡	東市来町	10/1～3/31	確認・全面
18	大原野	川内市	11月終了	確認・全面
19	浜町	鹿児島市	2/9～3/31	全面調査

※ 番号は上の地図の番号と一致

## 埋文だより 第13号

発行日：平成9年2月28日

編集・発行：

鹿児島県立埋蔵文化財センター

〒899-56

鹿児島県始良郡始良町平松6252

TEL 0995-65-8787

FAX 0995-65-8117